

2020年1月9日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

マルチセンサーポジショニングにより、世界トップレベルの精度を実現
インドアフライトプラットフォーム“BI AMY2”を発売
CES2020(1/7-1/10、米国ラスベガス)にて、世界へ向けて初公開

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、社長:熊田 貴之、以下ブルーイノベーション)では、様々な屋内のソリューションに対して、最小限のカスタマイズで素早くソリューション開発可能なインドアフライトプラットフォーム“BI AMY”を開発し、昨年6月より倉庫内の在庫管理や屋内設備の点検など、倉庫内・工場内の課題解決ソリューションに貢献してきました。しかし、従来の“BI AMY”は、カメラでマーカを検知し自己位置推定する方法を採用しており、マーカを施設に複数設置し、事前に地図情報を作成する必要がありました。施設によってはマーカを自由に設置することができないケースもあり、また、障害物を回避する機能も搭載されていませんでした。以上の課題を解決するため、この度、マルチセンサーポジショニング技術を開発し、マーカを複数設置せずかつ事前地図情報が無くても、自己位置が推定でき、さらに障害物を自動回避可能なセルフナビゲーションシステムを搭載した“BI AMY 2”を開発し、発売します。“BI AMY 2”は、リアルタイムに地図情報を取得しながら自動飛行が可能であり、マーカが無くても自己位置精度数 cm の精度で安定した屋内自動飛行を実現します。この度、CES2020(1/7-1/10、米国ラスベガス)にて、世界に向けて初公開します。

■背景・概要

近年、ドローンの活躍は目覚ましく、今後は特に、屋内での点検、警備、物流におけるドローン活用には注目が集まっており、作業効率を上げたいというニーズは高まっています。屋内においてはGPSが入らないため自動飛行するには、GPS以外のセンサーによる自己位置推定技術が必須ですが、今回、マルチセンサーポジショニングやセルフナビゲーションにより、従来よりも一層、正確で安定した屋内自動飛行を実現しました。

<狭い屋内空間でも、正確で安定した飛行を実現>



■技術特長

1. マルチセンサーポジショニング

施設にマーカを設置する必要がなく、施設、運用形態等の用途に応じて、複数のセンサーデバイスの中から、環境に応じて最適なセンサーを接続し総合補完することで、高精度な自己位置推定(精度数 cm)を実現します。本技術は、ドローンだけでなく、ロボットやAGV、UGVへ搭載・適用することも可能です。

2. セルフナビゲーション

事前に地図情報が無くても、リアルタイムに地図情報を取得しながら自動飛行が可能のため、ルート上に障害物がある場合でも、それを認識して自動的に回避ルートを生成可能です。

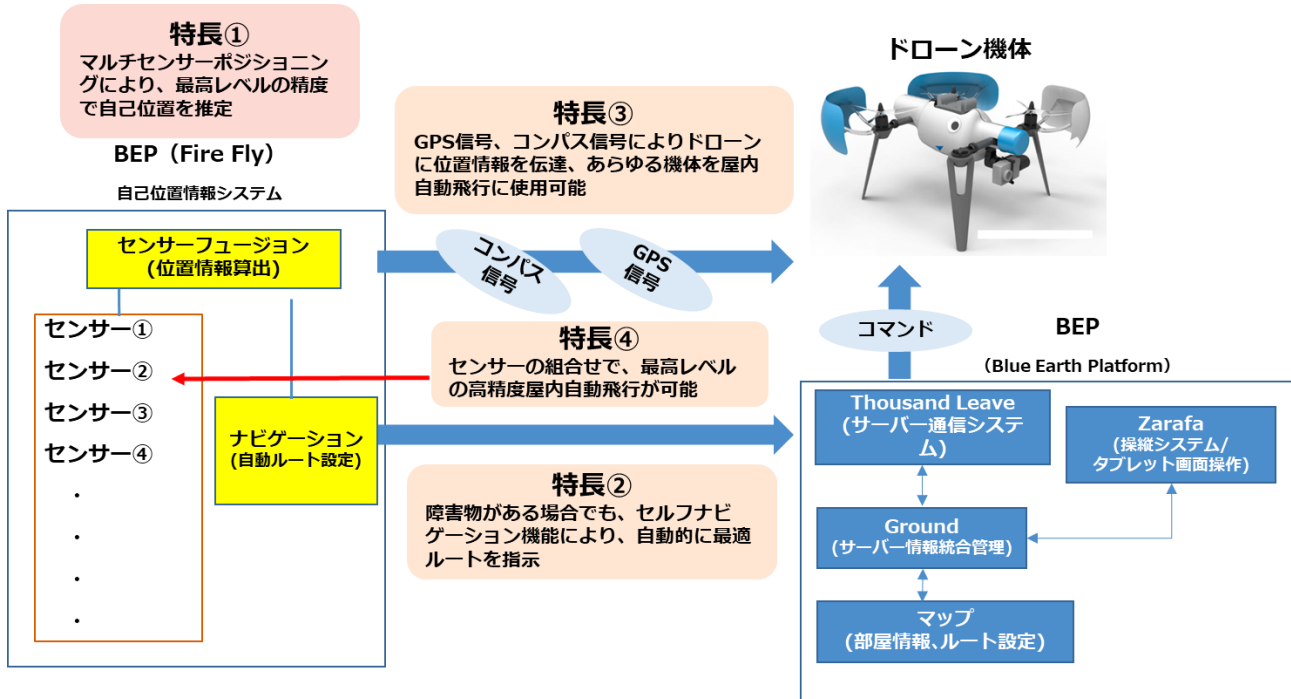
3. Blue Earth Platform (BEP)

ドローンだけでなくロボットやAGV、UGVなども含めた制御・管理可能なクラウドシステムを採用しています。

4. 小型のスマートバッテリー

小型のスマートバッテリー開発により、安全性を担保し、常にバッテリーの状態を監視することが可能です。

＜インドアフライトプラットフォーム”BI AMY2”のシステム構成図＞



■ブルーイノベーション株式会社 会社概要

所在地：東京都文京区本郷五丁目 33 番 10 号 いちご本郷ビル 4F

代表：代表取締役社長 熊田貴之

設立：1999年6月10日

資本金：4億71百万円

事業内容：「ドローン・ロボットを通じて、世界に貢献するグローバルカンパニーになる」をビジョンに掲げ、ドローンの先駆的サービス・プロバイダーとして、複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである Blue Earth Platform (BEP) を基軸に、点検、警備、物流、教育・安全、エンターテインメントの5つの分野でサービス展開しています。

URL：<http://www.blue-i.co.jp/>

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 経営戦略室 広報チーム 電話：03-6801-8781 E-mail：press@blue-i.co.jp